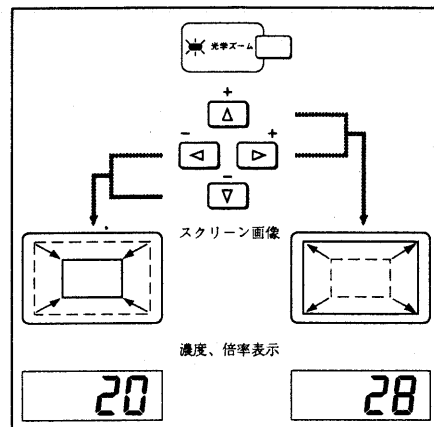


3.3 ピント合わせと画像の位置調整

- ズームレンズを取り付けたとき
濃度・倍率キーを押して「光学ズーム」ランプを点灯させてから、移動／＋キーを押して倍率を変えます。
プラスのキーを押すと倍率が上がり、マイナスのキーを押すと倍率が低くなります。
また、現在の倍率が「濃度・倍率」表示に表示されます。



- ランプキーについて
投影ランプを長持ちさせるために、必要のないときは消しておきましょう
- ランプキーを押すと投影ランプが消灯します。

消灯のランプを点灯させるときは

ランプ キーをもう一度押す

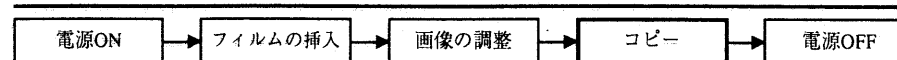
アドバイス

つぎの方法でも消灯しているランプを点灯させることができます。

- AF キーを押す
- コピーキーを押してコピーをとる

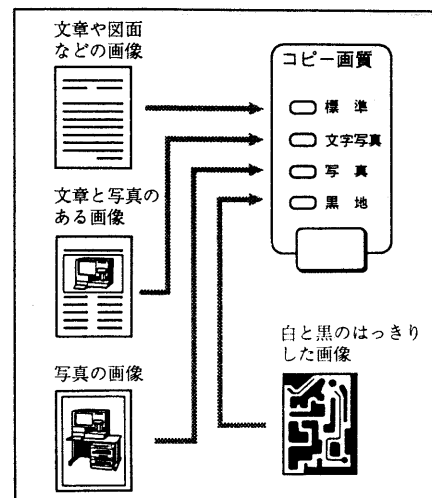
マニュアルフォーカスキーを押して移動／＋キーを押す。

3.4 コピー

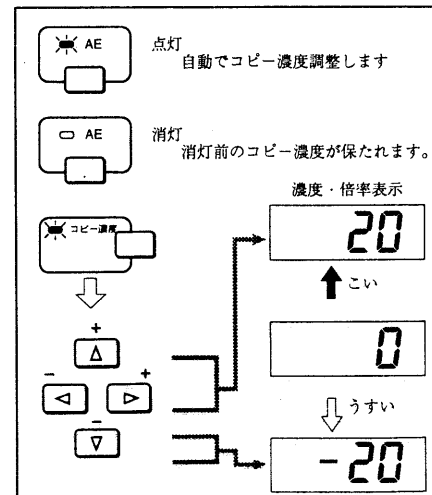


- きれいなコピーをとるために
スクリーンに投影された画像の状態によりつぎの調整をします。

- コピー画質を選びます。
 - ・ 文字だけの画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「標準」ランプを点灯させます。
 - ・ 文字と写真のある画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「文字写真」ランプを点灯させます。
 - ・ 写真など白黒の対象がおだやかな画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「写真」ランプを点灯させます。
 - ・ 白黒の対象がはっきりした画像をコピーするときは、コピー画質キーを押して「黒地」ランプを点灯させます。



- コピー濃度を合わせます。
 - ・ 「AE」ランプが点灯していることを確かめます。「AE」ランプが点灯していれば、コピーする画像ごとに自動でコピー濃度を調整してくれます。
 - ・ 「AE」ランプが消灯しているときは、直前の「AE」ランプ点灯時のコピー濃度が保持されます。(AEロック)
 - ・ 「AE」ランプ点灯／消灯どちらのときでも濃度・倍率キーを押して「コピー濃度」ランプを点灯させるとコピー濃度を変えることができます。
移動／＋キーを押して-20～20の範囲で好みのコピー濃度に設定してください。



- 電子ズームについて
この項では、選ばれたコピー用紙サイズに合わせて電子ズーム倍率「100.0」%でコピーをとることにします。
拡大・縮小コピーをするときは、「4. こんなコピーがとれます」P.35をご覧ください。

3.4 コピー

- 1 コピー枚数を確認めます。
表示パネルは「コピー・マイスウ1」が表示されています。
- 複数枚のコピーをとるときは、コピー枚数を数字キーで指定します。
99枚まで指定できます。

トレイ 1 A3
コピー・マイスウ 1

- 2 コピーキーを押します。
- 複数枚のコピーをとっているときは、1枚コピーするたびに、表示パネルの「コピー・マイスウ」の数字が減っていきます。



- コピーを中止するときは
- コピーを中止するときは、クリア/ストップキーを押します。
 - 複数枚コピーのときは、残りのコピー枚数を表示して止まります。
複数枚コピーを再び開始するときはコピーキーを押してください。

ご注意

コピーを中止したときすでに、プリンターが次のコピーの準備に入っているときには白紙が出る場合があります。

コピー中止



トレイ 1 A3 ストップ
コピー・マイスウ 1

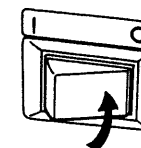
再びコピー開始



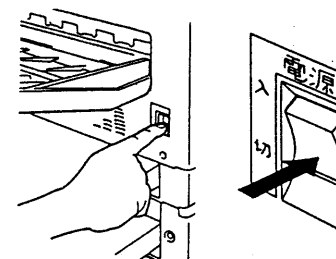
3.5 電源のOFF

電源ON → フィルムの挿入 → 画像の調整 → コピー → 電源OFF

- 1 FDIP6200の電源スイッチをOFFにします。
- 左側面の電源スイッチをOFFにします。
(「O」側に押します。)



- 2 LP10の電源をOFFにします。
- LP10の左側の電源スイッチをOFFにします。
(「切」側に押します。)



- 3 電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

コピートレイに、最後のコピーが排出されたのを確かめてから電源スイッチをOFFにしてください。
RU10、CU12、TC12をお使いのときは、フィルムを巻き戻して取り出してください。

これで、電源ONから電源OFFまで一通りの操作が終わりました。簡単な機械であることがわかります。

ここで行った操作方法は、FDIP6200システムの特機能の基本です。

さらに高度な機能については、「4. こんなコピーがとれます」から「5. 使いこなしていただくために」をあわせてご覧いただき、FDIP6200の全機能をフルにご活用ください。